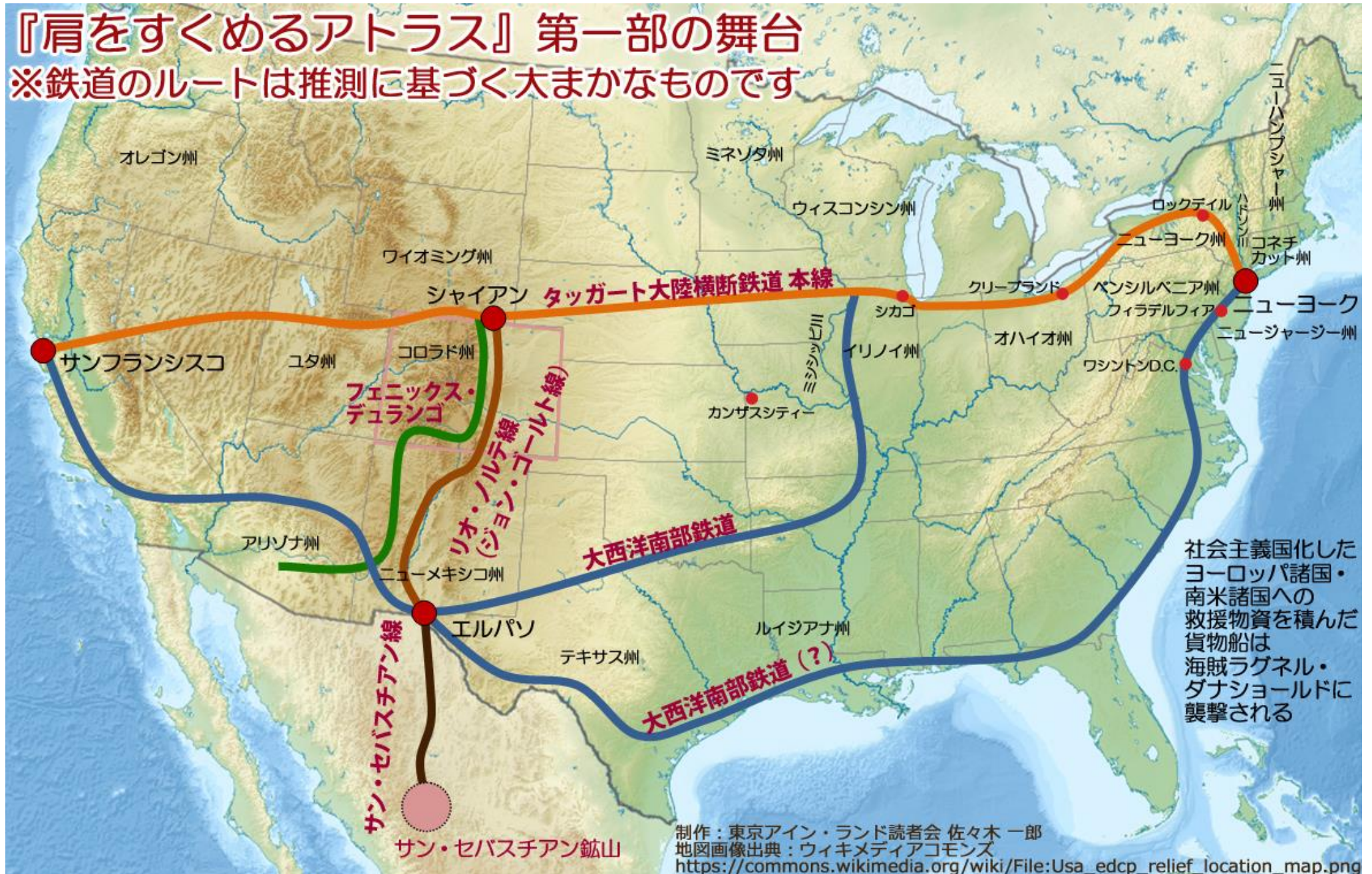


『肩をすくめるアトラス』第一部の舞台

※鉄道のルートは推測に基づく大まかなものです



※「～歳」「～年前」「～年後」等は原則として物語開始の年を基準としたものです。

① 主な地名と鉄道路線

■ コロラド州

- ◇ 8年前にエリス・ワイアットによる技術革新で油田が復活し、全米の経済を牽引する産業州に（それ以前は産業らしい産業がなかった）。
- ◇ ワイアットの油田はコロラド州とニューメキシコ州の境付近の山間部に存在すると推定される（シャイアンから 300 マイル）
- ◇ 多数の成長企業が集結
- ◇ 他州に比べ社会福祉や規制が未発達（「裁判所と警察をおいとくだけ」）

■ タグgart大陸横断鉄道

- ◇ アメリカ最大の鉄道会社。ダグニーの曾祖父が創業。
- ◇ 全米に鉄道網を血管のように張り巡らせる。

■ タグgart大陸横断鉄道 本線

- ◇ ニューヨークとサンフランシスコを結ぶ（イリノイ州、ネブラスカ州、ワイオミング州、コロラド州、ユタ州を經由）
 - 推定路線距離約 5,600km、推定所要時間約 67 時間（1950 年代）
 - （参考）大阪～札幌の鉄道路線距離は約 1,500km、所要約 22 時間（2010 年代）

■ 大西洋南部鉄道

- ◇ タグgart大陸横断鉄道の競合。アメリカ東海岸と西海岸を、オクラホマ州、ニューメキシコ州、アリゾナ州を經由するルートで結ぶ。
- ◇ 他に大西洋沿いの路線も持っているが社名から推測される

■ タグgart大陸横断鉄道リオ・ノルテ線（＝「ジョン・ゴールト線」）

- ◇ ワイオミング州シャイアンで本線から分岐、コロラド州を經由し、テキサス州エルパソで大西洋南部鉄道本線に接続
 - 推定路線距離約 1200km（東京から佐賀ぐらい）
 - シャイアン～ワイアットジャンクションの路線距離は 300 マイル＝483km
 - （参考）東海道本線の東京～野洲（滋賀県）の路線距離が 483.9km
- ◇ 路線設備が老朽化し、4～5 年前にワイアット石油の石油輸送をフェニックス・デュランゴに奪われたのを機に、顧客の大半を失う

■ フェニックス・デュランゴ

- ◇ リオ・ノルテ線と競合する鉄道路線。ワイオミング州でタグgart大陸横断鉄道に、ニューメキシコ州で大西洋南部鉄道本線に接続。
- ◇ 社長ダン・コンウェイ。
- ◇ 4～5 年前、ワイアット石油の石油輸送を受注したのを機に躍進
- ◇ アリゾナ、ニューメキシコ、コロラドの貨物輸送でトップシェア。「世界に残った唯一のまともな鉄道」

■ サン・セバスチアン鉱山

- ◇ 世界最大の銅採掘企業「ダンコニア銅金属」のオーナー社長フランシスコ・ダンコニアが、6 年前にメキシコ人民共和国の広大な裸の山を購入して開発に着手した鉱山

■ タグgart大陸横断鉄道サン・セバスチアン線

- ◇ テキサス州エルパソからサン・セバスチアン鉱山までを結ぶ。6 年前、社長を継いだばかりのジェイムズがフランシスコの天才的な投機能力を当てにして着工を決める。昨年 12 月に開通。

■ ペンシルベニア州フィラデルフィア

- ◇ リアーデン・スチールの本社と工場がある

■ オハイオ州クリーブランド

- ◇ 名門パトリック・ヘンリー大学（フランシスコがヒュー・アクストン博士とロバート・スタッドラー博士に師事した大学）がある
- ◇ 冒頭、リオ・ノルテ線の視察からコメット号でニューヨークに戻る途中のダグニーが、この町の駅からリアーデン・スチールに独断でレールを発注する

■ ウィスコンシン州

- ◇ かつて二十世紀モーター社という超優良モーター製作会社がおそらくシカゴから遠くない州南部の町に）あった

■ ニューヨーク市

- ◇ タグgart大陸横断鉄道の本社ビル（タグgartビル）がある。本社ビルの地下はタグgart大陸横断鉄道本線の終点タグgart・ターミナル

- ◇ ジョン・ゴールト線ニューヨーク事務所が、タグgart大陸横断鉄道本社ビル速達荷物専用口向かいの路地裏の小さな小屋に設けられる

- ◇ 市庁舎の塔のてっぺんに日付を示すカレンダーがある
- ◇ 最高級ホテル「ウェイン・フォークランド・ホテル」がある

■ ワシントン D.C.

- ◇ アメリカ合衆国の首都。議員、官僚、ロビイストが集結。
- ◇ ユージン・ローソン（一度破綻した二十世紀モーター社などに無難な融資をしてマディソン共同国民銀行を大規模破綻させ、結果的にウィスコンシン州全体（および周辺諸州）の経済に壊滅的な打撃を与え、多くの人々の貯蓄を失わせた人物）が、経済企画国家資源局で地位を得て働いていた

■ ニューヨーク州

- ◇ ハドソン川沿いにタグgart家の領地がある。ダグニーが育った邸宅の近くの川岸に、よく晴れた日にはマンハッタンが見えると言われる崖がある。
- ◇ ダグニーが育った邸宅から 5 マイル（約 8km）のところに、ダグニーが 16 歳で夜間オペレーターとして働き始めた田舎駅「ロックデイル駅」がある。

■ ミネソタ州

- ◇ ハンク・リアーデンが 14 歳で鉱夫として働き始めた。現在はハンク所有する鉱山がある
- ◇ タグgart大陸横断鉄道の赤字線がある
- ◇ ワード氏が経営する収穫機会社がある

■ コネチカット州

- ◇ ホーレス・バズビー・モーウェンが経営するアマルガメイト転輸信号機製作所がある。その向かいにあったクイン・ボールベアリング社はコロラド州に移転する

■ ニュージャージー州

- ◇ 連合機関車製作所がある

■ ニューハンプシャー州

- ◇ 国家科学研究所がある

■ カンザスシティ（ミズーリ州）

- ◇ エリス・ワイアットがコロラド州のワイアット油田からここまで 600 マイル（約 970km）のリアーデン・メタル製パイプラインの敷設計画を立てる

■ ワイオミング州

- ◇ ウィリアム・ヘイスティング（二十世紀モーター社の技監を務めた人物）の未亡人が暮らしている
- ◇ ロッキー山脈の高地でヒュー・アクストン博士が食堂のオーナーシェフとして働いていた

■ イリノイ州

- ◇ 五大湖工業地帯の中心シカゴがある
- ◇ かつて全米一裕福だった銀行家マイダス・マリガンが経営するマリガン銀行があった（4 年前に失踪・消滅）
- ◇ かつてナラガンセット判事が州高裁判事を務めていた（4 年前に失踪）
- ◇ 「どのような理由でも、人の生計に関わることについての差別を禁じる」「人間的で進歩的な」（東海岸の州にはなかった）法律が 6 年前の時点であった。

■ アリゾナ州

- ◇ リアーデン・スチールに銅を供給する銅山がある

■ オレゴン州

- ◇ リー・ハンサッカー（二十世紀モーター社を二度目に破綻させた人物）が暮らしていた

■ ルイジアナ州

- ◇ 二十世紀モーター社の創業者ジェット・スターズ跡継ぎで、同社を破綻させたスターズ姉弟が暮らしていた

■ ミズーリ州カンザスシティ

- ◇ エリス・ワイアットがコロラド州のワイアット油田からここまで 600 マイル（約 970km）のリアーデン・メタル製パイプラインを計画する

② 主な登場人物

■ ヒロインとその腹心

- ◇ **ダグニー・タッガート** (34歳)
 - アメリカ最大の鉄道会社「タッガート大陸横断鉄道」の業務取締役副社長
 - 無能な兄ジェームズに代わり、鉄道の全運営を司る
- ◇ **エディー・ウィラーズ** (32歳)
 - タッガート大陸横断鉄道の業務取締役副社長特別補佐。
 - ダグニーの幼馴染にして右腕
- ◇ **タッガート・ターミナルのタバコ屋の店主**
 - 小さな売店で 20 年にわたりタバコを売っている。ダグニーも時々立ち寄る
 - これまで製造されたあらゆる銘柄のタバコに精通している

■ ヒロインを邪魔する者たち

- ◇ **ジェームズ・タッガート** (39歳)
 - タッガート大陸横断鉄道社長
 - ダグニーの兄。ダグニーに依存しながらダグニーを嫌悪している
 - 議会や政府に働きかけて自社に有利な措置を引き出す手腕に長ける
 - 競争や格差拡大を嫌う
- ◇ **フランシスコ・ダンコニア** (36歳)
 - 世界最大の銅採掘企業「ダンコニア銅金属」のオーナー社長
 - 名門ダンコニア一族の頂点。投機の天才
 - 世界最大の放蕩者にしてプレイボーイ
 - ダグニーの幼馴染で元恋人
- ◇ **シェリル・ブルックス** (18~19歳)
 - ニューヨークの安物雑貨屋の女子店員
 - ジョン・ゴールト線の建設者（と思ひ込んだ）ジェームズを崇拜。

■ 英雄的な産業家たち

- ◇ **ハンク・リアーデン** (45歳)
 - 米国最大手の鉄鋼会社リアーデン・スチールの創業社長
 - 夢の合金リアーデン・メタルの開発者
 - 自分より能力のない者たちが自分を「強欲」と非難し、平然と自分にたかることを倫理的に正当と見なす
 - 性欲・性交を穢らわしいものと見なす倫理観の持ち主
 - ダグニーとビジネス上の関係を超えて愛し合うようになる
- ◇ **エリス・ワイアット** (33歳)

- ワイアット石油（コロラド州）社長
- 独自開発した技術で廃油田を復活させ、アメリカ経済を牽引する大好況をコロラド州にもたらした
- ◇ **ダン・コンウェイ** (50歳近く)
 - 「唯一のまともな鉄道」フェニックス・デュランゴの創業社長
 - 多数決の公正性を信じ、自社の路線の営業停止を求める多数決に従う

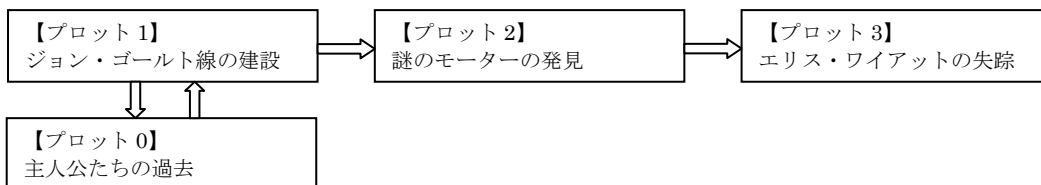
■ 英雄的な産業家にたかる者たち

- ◇ **オルレン・ボイル**
 - 5年前に多額の補助金を得て共同製鉄を創業、巨大企業グループを形成
 - しばしば全米の雑誌の表紙を飾り、ラジオ番組も持つ
- ◇ **ウェスリー・ムーチ**
 - ハンク・リアーデンが「機会均等化法」成立阻止のため雇ったロビイスト
 - ハンクを裏切った見返りに「経済企画国家資源局」の局長補佐に就任
- ◇ **ロバート・スタッドラー博士** (50歳過ぎ)
 - 国家科学研究所所長
 - 国民的尊敬を受ける学者
 - 27歳で宇宙物理学の定説を覆す理論を発表した
- ◇ **バートラム・スカダー**
 - 雑誌やラジオで産業家を攻撃して人気を博している言論人。

■ ハンク・リアーデンにたかる者たち

- ◇ **ハンクの妻** (リリアン)
 - 8年前にハンクと結婚
 - ハンクのことを「仕事のことしか頭にない」と非難し続けている
- ◇ **ハンクの母**
 - ハンクの家に住みながら四六時中ハンクを非難している
 - 息子のフィリップを溺愛している
- ◇ **ハンクの弟** (フィリップ、38歳)
 - 大学卒業後就職せず、ハンクの家に住みながら社会運動に関わっている
 - 大学の学費から現在の生活費まですべてハンクに出してもらっている
- ◇ **ポール・ラルキン** (53歳)
 - ハンクの古なじみの実業家。ときどきハンクに借金している。

③ 第一部の主要プロット



④ 「ジョン・ゴールト線の建設」タイムライン

10年前	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンク (35歳)、リアーデン・スチールを創業 (創業資金はシカゴの銀行家マイダス・マリガンが融資)。タッガート大陸横断鉄道にレールを納入し始める。 ● ハンク、新合金「リアーデン・メタル」の開発に着手
9年前	<ul style="list-style-type: none"> ● フランシスコ (27歳)、恋人ダグニー (23歳) に別れを告げ、「世界一の放蕩者・プレイボーイ」として名を馳せるようになる
8年前	<ul style="list-style-type: none"> ● エリス・ワイアット (25歳) がコロラド州の油田を復活させる
7年前頃	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイアットによる油田復活で、それまで産業がほとんどなかったコロラド州が産業州になり、全米の経済を牽引し始める
6年前	<ul style="list-style-type: none"> ● タッガート大陸横断鉄道の先代社長 (ダグニーとジェームズの父) 死去。ジェームズ (33歳) がタッガート大陸横断鉄道の社長に就任する ● フランシスコ (30歳) がメキシコ人民共和国の広大な裸の山を購入し「サン・セバスチアン鉱山」の開発に着手する。ジェームズ、オルレン・ボイルらがサン・セバスチアン鉱山の株式を大量購入する ● ダグニー (28歳) らの大反対を押し切り、新社長ジェームズがサン・セバスチアン線の建設に着手する ● メキシコ民国政府が、サン・セバスチアン線とサン・セバスチアン鉱山に二百年の財産権を保証する契約に調印する
5年前頃	<ul style="list-style-type: none"> ● リオ・ノルテ線 (輸送量が増大しながら老朽化したまま放置されていた) で事故が多発。ワイアット石油の石油を輸送するタンク車が脱線炎上し、ジェームズは裁判で「これは神のしわざだ」と主張。エリス・ワイアットは石油輸送をフェニックス・デュランゴ (当時は弱小だった) に切り替える。これを機にフェニックス・デュランゴが急成長し、リオ・ノルテ線は顧客を失う ● オルレン・ボイルが政府の補助金で共同製鉄を立ち上げ、全米の雑誌の表紙を飾るようになる
2年前	<ul style="list-style-type: none"> ● ダグニー (32歳)、業務取締役副社長に就任。着工から3年が経過して3分の1しか敷設されていなかったサン・セバスチアン線の建設工事を引き継ぐ。ジェームズが雇った施工業者を解雇し、優秀な施工業者ディック・マクナマラに発注する。 ● タッガート大陸横断鉄道、機関車を連合機関車製作所に発注する

1年前	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンク、ダグニーを初めて見る ● ハンク、リアーデン・メタルの開発に成功
8月	● ジェイムズ、共同製鉄（社長オルレン・ボイル）にリオ・ノルテ線改修用のレールを試験的に発注（納期 12月）
12月	● 共同製鉄、リオ・ノルテ線用レールを納期に納品できず。ジェイムズ、納期を翌年6月まで延期
	● サン・セバスチアン線開通。大晦日に開通式
0年	<ul style="list-style-type: none"> ● リオ・ノルテ線の車両・設備の老朽化が進み、定時運行が不可能になる。最高速度 20 マイル（約 32km）に ● ダグニー、採用実績ゼロのリアーデン・メタル製レールをリオ・ノルテ線に導入することを決意
6月	● 共同製鉄、リオ・ノルテ線用レールを納期に納品できず。ジェイムズ、納期を 10 月まで延期
9月	● リアーデン・スチール、リアーデン・メタルの量産体制を整える
物語開始	<ul style="list-style-type: none"> ● ダグニー、リオ・ノルテ線を視察。視察の帰途、リアーデン・スチールにリアーデン・メタル製レールを発注（10月着工、翌年10月に敷設完了の計画） ● 初受注のリアーデン・スチール製品（リオ・ノルテ線向けレール）、初出鋼 ● ジェイムズ、オルレン・ボイル、ウェスリー・ムーチ、ポール・ラルキンが密談（タグガート大陸横断鉄道のためにフェニックス・デュランゴを潰す「共食い防止協定」と、共同製鉄のためにリアーデン・スチールを潰す「機会均等化法」を協力して設立させる密約を結ぶ） ● ダグニー、リオ・ノルテ線のレール敷設工事を施工業者ディック・マクナマラに発注 ● ダグニー、機関車の納期遅れについて説明を求めに連合機関車製作所を訪問。要領を得ない説明を受ける ● ディック・マクナマラ、辞職し失踪 ● ダグニー、リアーデン・メタル製転轍機の製造を渋るアマルガメイティド転轍信号機製作所社長モーウェンを説き伏せる
10月	<ul style="list-style-type: none"> ● メキシコ民国政府、サン・セバスチアン鉱山およびサン・セバスチアン線を国有化。サン・セバスチアン鉱山の株式（一般株主持分 3500 万ドル+フランシスコ持分 1500 万ドル）が低くずに。タグガート大陸横断鉄道、サン・セバスチアン線に投資した 4000 万ドルが全損に ● 全米鉄道連盟、「共食い防止協定」を可決。9 か月後（翌年 7 月）までにフェニックス・デュランゴの営業を停止しなければならぬことが決まる。ダグニー、社長コンウェイに抵抗するよう説得するが、コンウェイは多数決を受け入れ営業停止を決める ● ワイアット、ダグニーのオフィスを訪れ、フェニックス・デュランゴが営業停止した後、リオ・ノルテ線が 5 年前と同じ水準の輸送しかできなければワイアット石油は潰れること、潰れるときはタグガート大陸横断鉄道も道連れにすることを警告 ● ダグニー、ハンクにリオ・ノルテ線レール敷設完了の前倒し（12 月→9 月、翌年 7 月完成）を打診。ハンク、1 トンあたり 20 ドルの上乗せで了承 ● サン・セバスチアン鉱山の価値がほぼゼロであったこと（大鉱床は存在しなかったこと）が判明する。メキシコ民国政府、ダンコニア銅金属を非難する決議 ● ダグニー、フランシスコを訪問しサン・セバスチアン鉱山について問い質す ● 「機会均等化法」の設立を後押しする世論が高まる
12月	● リアーデン夫妻結婚記念パーティー。ジェイムズ、フランシスコにサン・セバスチアン鉱山について問い質す
1年後	<ul style="list-style-type: none"> ● 1月 <ul style="list-style-type: none"> ● ダグニー、リオ・ノルテ線敷設工事現場でワイアットとハンクに会い、2人が密かに工事を助けていたことを知る ● ハンク、ダグニーにリアーデン・メタル製の橋を提案 ● 全米金属産業会議（会長オルレン・ボイル）、「リアーデン・メタルは公共の安全への脅威」とする報告書を発表 ● デトロイトの構造用形鋼従業員組合会議が組合員がリアーデン・メタルを扱う仕事を許可されるべきかどうか議論したと報じれる。リアーデン・メタルを扱うことを検討していた施工業者が受注をキャンセルする。 ● ニューメキシコの小学校教職員組合総会が、リオ・ノルテ線の列車に子どもの乗車を許可すべきではないという見解を決議 ● ジェイムズ、コンウェイにフェニックス・デュランゴの路線の丸ごと譲渡を打診し、拒否される。レールの売却も拒否され、リオ・ノルテ線の完成がフェニックス・デュランゴの営業停止までに間に合わない可能性が出てきて焦りははじめる。 ● 29日 ジェイムズ、ダグニーを騙して「リアーデン・メタルは死を招く強欲の産物か？」というテーマのラジオ討論会に出させようとする ● 2月頃 <ul style="list-style-type: none"> ● 国家科学研究所、「経済の不安定化」を回避するため、ハンクにリアーデン・メタルの出荷延期を要請。さらにリアーデン・メタルに対する権利を売り渡すことも要請。 ● リアーデン・メタル製転轍機を製造していたアマルガメイティド転轍信号機製作所の社長モーウェンが、「嫌がる人間が多すぎる」ことを理由に製造を拒否 ● 国家科学研究所、リアーデン・メタルの安全性について警告する声明を発表 ● ダグニー、国家科学研究所所長スタッドラ博士と面会。国家科学研究所がリアーデン・メタルに関する警告を出した背景を知る。スタッドラ博士の3人の弟子（内1人はフランシスコ）について聞かされる ● 国家科学研究所の声明がきっかけでタグガート大陸横断鉄道の株が大暴落。リオ・ノルテ線の工事資金の調達が可能になる ● ジェイムズ、ワシントンにフェニックス・デュランゴの路線の接収と引き渡しを打診し拒否される。全米鉄道連盟にフェニックス・デュランゴの営業1年延長許可を出させるが、コンウェイが営業延長を拒否。コンウェイへの営業延長命令の要請をワシントンに出させるよう、ワイアットらコロラドの企業家たちに働きかけるが、拒否される。フェニックス・デュランゴが予定通り7月に営業停止し、リオ・ノルテ線をそれまでに完成できないことが、決定的となる。 ● ジェイムズ、ハドソン川ほとりの屋敷に身を隠す ● ダグニー、屋敷にジェイムズを訪れ、リオ・ノルテ線再建のための新会社を立ち上げることを通告。ジェイムズ、タグガート大陸横断鉄道との関係をいっさい臭わせない社名にするよう要求。ダグニー、「ジョン・ゴールト線」と名付けると決める。 ● ダグニー、タグガート大陸横断鉄道を退職し、ジョン・ゴールト株式会社を設立する。タグガート大陸横断鉄道でのダグニーの代役（業務取締役副社長）には、エディー・ウィラーズが就任する ● ダグニー、リオ・ノルテ線の再建費 1500 万ドルのうち 700 万ドルを自己名義のタグガート大陸横断鉄道株を担保に借り入れ調達。残り 800 万ドルを調達するため社債を発行 ● ダグニー、フランシスコに社債購入を打診し断られる。フランシスコ、不可解な反応を示す ● ストックン製造所、リアーデン・メタル製転轍機の製造を請け負う ● コロラドの企業家たちがジョン・ゴールト株式会社の社債購入に応じる ● ジョン・ゴールト株式会社、建設作業員の募集を開始する。（組合がリオ・ノルテ線の建設工事に携わることを禁じたため）偽名で多数の応募がある ● ダグニー、ハンクにリアーデン・メタル製の橋を正式発注する。ハンク、ジョン・ゴールト線の社債 100 万ドル分を購入 ● 3月頃 <ul style="list-style-type: none"> ● リアーデン・スチールに向かう銅 5 千トン積んだ貨物列車がニューメキシコ州で事故。リアーデン、2 時間で輸送経路を確保。「機会均等化法」、議会を通過（ハンクの企業グループが解体されることが決まる）。ハンク、ジョン・ゴールト線に使うリアーデン・メタル製の橋の設計に画期的な着想 ● 春 <ul style="list-style-type: none"> ● ジョン・ゴールト線に関する報道が鳴りを潜める ● 連合機関車製作所、倒産。サンダース航空機社長のドワイト・サンダース、連合機関車製作所の工場を買い取る（サンダース航

- 空機は弟に売却)。ダグニーとサンダース、ディーゼル機関車 10 台の購入契約を結ぶ
- ドワイト・サンダース、突如辞職し失踪。ダグニー、サンダースを引き止めるためニューヨークへ飛ぶがサンダース見つからず。夜、ジョン・ゴールト線ニューヨークオフィスの外に男の気配
 - ハンク、「機会均等化法」に対応するため、石炭事業をケン・ダナガーに、鉱山事業をポール・ラルキンに売却
 - ハンク、タッガート大陸横断鉄道の支払期日をジョン・ゴールト線開通の 6 ヶ月後まで延長するとエディーに伝える
- 6月
- 「ジョン・ゴールト線のリアーデン・メタル製の橋は列車の重みで崩落する」という噂が、大々的に流される。ハンクとタッガートの強欲を非難する声が大きくなる。言論人、文化人、市民団体が反対の声を上げる
 - タッガート大陸横断鉄道の株価が、人々に気づかれないうまゆっくり上昇する（リアーデン・メタル製の橋の危険性を煽っている人々が偽名でタッガート大陸横断鉄道株を購入）。
 - 橋の桁に亀裂が生じて崩壊し、作業員 3 名が死亡したというデマが流れる
- 7月
- ジョン・ゴールト線の開通便の貨物列車への積荷注文が続々と集まる
 - 機関士組合の代表がダグニーを訪問し、組合員にジョン・ゴールト線の列車の操縦を許さないと伝える。ダグニーが提示した「組合員は今後ジョン・ゴールト線の列車の操縦に雇わない」とする契約は拒否
 - ジョン・ゴールト線開通便の運転を志願する機関士を募集する貼紙が出される
 - 15日 タッガート大陸横断鉄道の機関士全員がジョン・ゴールト線開通便の運転を志望。本社の旧ダグニー・オフィスに来れる機関士が全員集まる。開通便の機関士が抽選で選ばれる。ダグニー、自分も開通便に乗ると表明
 - ジョン・ゴールト株式会社のニューヨークオフィスでダグニーが記者会見。ハンクも会見に同席し、開通便に乗ると表明
 - 22日午後4時 ジョン・ゴールト線開通便がコロラド州ワイアット・ジャンクションを目指しワイオミング州シャイアンを出発
 - 22日夜（7時頃）開通便がワイアット・ジャンクションに到着。ワイアット、ダグニーとハンクを自宅に招き祝賀。夜、ダグニーとハンク肉関係者をつぶす。
 - 22日夜 ラジオが一晩中ジョン・ゴールト線の成功を称える。タッガート大陸横断鉄道の広報、ジョン・ゴールト線の成功が実は社長ジェイムズ・タッガートの功績であったとするプレスリリースを流す
 - 23日 新聞の一面がジョン・ゴールト線の成功を報道する記事で埋まる。タッガート大陸横断鉄道のプレスリリースもそのまま載る。タッガート大陸横断鉄道の株価が急上昇
 - 23日夜 ジェイムズ、ティッシュペーパーを買いに入った雑貨店で店員シェリル・ブルックスから尊敬の眼差しを受ける
 - リアーデン・メタルへの注文がリアーデン・スチールに殺到する
 - ジョン・ゴールト線への貨物輸送注文が殺到する
- 8月
- ダグニー、ジョン・ゴールト線をタッガート大陸横断鉄道に引き渡し、ジョン・ゴールト株式会社を終結。路線名は再び「リオ・ノルテ線」となる。タッガート大陸横断鉄道業務取締役副社長に復帰
- 9月
- 全米金属産業会議（ハンクを攻撃してきた同業者団体）がハンクを主賓にした晩餐会を開催

⑤ 「謎のモーターの発見」タイムライン

- 10年前
- ウィリアム・ヘイスティング（二十世紀モーター社勤続 18 年の技監）の 26 歳の助手（「いつか世界をひっくり返す若い技術者」）が画期的なモーターを完成させる。モーターの完成と若い助手の才能について、ヘイスティングが妻に興奮しながら教える
 - モーターが完成した翌月頃、ジェッド・スターンズ（二十世紀モーター社の創業社長）が死去し、ジェッドの跡取り 3 人（長男・長女・次男）が同社を継ぐ
 - ジェッドの跡取り 3 人が「各人が能力に応じて働き、必要に応じて受け取る」という「無私原則」に基づく経営計画を発表する。
 - 経営計画が発表された翌日、ヘイスティングが二十世紀モーター社を（2 番目！？）退職し、アクミ自動車（ワイオミング州）に転職する。以後、二十世紀モーター社から社員が次々に退職する
- 9年前
- ヘイスティング、転職から 1 年経った頃から、解けない問題と一人で闘っている様子を見せる。
 - 年末、ヘイスティングがアクミ自動車を退職し、「今後どこで働くつもりもない」と宣言する（以後奥深い充足感に満たされた様子で過ごす）。
 - ヘイスティングが、駅のレストランの前で背の高い若い男と年配の白髪の男の 2 人と一緒にいるところを、迎えに来た妻が目にする。ヘイスティング、背の高い若い男が「モーターの素晴らしい作りでだった男」だと妻に教える
 - ヒュー・アクストン博士（パトリック・ヘンリー大学哲学科長、フランシスコの師匠）、引退・失踪
- 6年前
- 「無私原則」に基づく二十世紀モーター社の経営計画が 4 年で破綻し、警察や弁護士が入り乱れての破産処理が行われる。
 - タッガート大陸横断鉄道、二十世紀モーター社工場への引込線を撤去
 - リー・ハンサッカー、友人とアマルガメティッド事業社を結成し、二十世紀モーター社工場の買収に乗り出す。買収資金 50 万ドルの融資を銀行家マイダス・マリガンに依頼し、拒否される。マリガンを相手取り融資を求める訴訟を起し、第一審（ナラガンセット判事が担当）で敗訴するが、控訴審で逆転勝訴する。ハンサッカーに 3 カ月以内に 50 万ドルを融資するようマリガンに命令が下るが、3 カ月を待たずマリガンが銀行を精算し失踪する。
 - ヘイスティング、夏の 1 カ月間行き先を告げずに家を開けるようになる。
 - マリガンが失踪して半年後、ナラガンセット判事が辞職・失踪する。
 - マディソン共同国民銀行（3 代目頭取ユージン・ローソン）、ハンサッカーに二十世紀モーター社工場の買収資金 50 万ドルを融資
 - ハンサッカー、二十世紀モーター社工場がかつて同社のドル箱だったモーターの製造を開始
 - ハンサッカー、二十世紀モーター社工場に重役用のシャワー付き浴室を導入。従業員用カフェテリア、遊技場、手洗い所などを整備。
- 5年前頃
- それまで無名だったニールセン・モーター（コロラド州）、二十世紀モーター社と同等のモーターを半額で生産し始める。二十世紀モーター社のモーターが売れなくなる。マディソン共同国民銀行が二十世紀モーター社に無謀な追い貸しを続ける。
- 4年前
- ヘイスティング、心臓病で死去。
- 3年前
- ジェッド・スターンズの次男エリック、自殺
- 2年前頃
- 二十世紀モーター社、二度目の経営破綻。
 - 二十世紀モーター社が経営破綻した 3 カ月後、マディソン共同国民銀行が破綻。ウィスコンシン州の経済が壊滅的打撃を受ける。同行に預金していた多くのウィスコンシン州民が貯蓄を失う。
 - マディソン共同国民銀行の破綻処理で二十世紀モーター社工場が売りに出される。
 - バスカム市長（ウィスコンシン州ローム）、二十世紀モーター社工場を買収し、工場にあった社長机とシャワーを自宅に運ぶ
 - バスカム市長、買収から数カ月後に二十世紀モーター社工場を人民抵当社（ウィスコンシン州ローム）のマーク・ヨンツに転売
 - 裁判所の旧館で火事があり二十世紀モーター社工場の権利関係に関する記録が焼失する
- 1年前
- マーク・ヨンツ、工場を担保にイリノイ州の銀行から融資を引き出した上で、サウスダコタ州の多数の投資家に工場を売りつけ、機械類も売り払った上で、姿をくらます。工場をめぐる権利関係の整理が膠着状態に陥る
- 0年（物語開始）
- 1年後
- 春、ヘイスティング夫人、以前駅前のレストランで亡夫と若い技術者と一緒にいるところを見た年配の男性が、ワイオミング州のロッキー山脈の高地の食堂でシェフをしているのを目にする。

- 7月、ジョン・ゴールト線開通。
- 9月、ダグニーとハンク、数週間の休暇を取りドライブへ。途中、使える工作機械が残されていないか見るため、二十世紀モーター社工場跡に立ち寄る。超一流のモーター工場で栄えていた街が、今は無気力な人々だけが残され、未開の地のようになっていることにダグニーとハンク驚く。二十世紀モーター社工場跡で、ダグニーが謎の機械の残骸を発見。大気中の静電気を運動エネルギーに変換する革命的なモーターの試作機であることを理解する。モーターの量産が可能になれば国民全員の寿命が10年伸びるほどの進歩をあらゆる産業分野で達成できること、モーターの発明者（もしくは同等の頭脳を持った人物）でなければモーターの復元は不可能であることがわかり、モーター発明者の発見がダグニーとハンクにとって最重要課題になる
- ダグニーとハンク、二十世紀モーター社工場跡の地元の文書館を訪問。工場をめぐる錯綜した権利関係と、前々所有者（バスカム市長）の居場所を聞き出す。さらにバスカム市長を訪問し、その前の抵当権者（マディソン共同国民銀行ユージン・ローソン）の居場所を聞き出す。
- 10月、ダグニー、二十世紀モーター社工場跡にあった革命的モーターの残骸を、タッガート・ターミナルの廃トンネルの地下室に運び込ませる。ワシントンの経済企画国家資源局にローソンを訪ね、工場および銀行が破綻した経緯と、前所有者（リー・ハンサッカー）の居場所を聞き出す。
- ダグニー、オレゴン州にハンサッカーを訪ね、工場を買収し破綻させた経緯と、ジェッドの跡取りの居場所を聞き出す。
- ダグニー、ルイジアナ州デラスの警察署を訪ね、署長からジェッドの跡取り3人の人となりと存命2人の居場所を聞き出す
- ダグニー、ルイジアナ州のドヤ街にジェッドの長男ジェラルドを訪ね、当時の話を聞き出す
- ダグニー、ルイジアナ州のミシシッピ川のほとりの悪臭漂うバンガローにジェッドの長女アイビーを訪ね、当時の話と当時の技監（ウィリアム・ヘイスティング）の名前と居場所を聞き出す
- ダグニー、ワイオミング州にヘイスティングを訪ね、夫人からヘイスティングが既に死去していることを知らされる。ヘイスティング夫人、モーターの発明者がヘイスティングではなく若い助手でまだ存命している可能性が高いこと、ヘイスティングとその助手と一緒にいるのを見たことがある年配の男性がロッキー山脈の高地の食堂でシェフをしていることを、ダグニーに教える。
- 11月 ダグニー、ヘイスティング夫人から教わった白髪のシェフをワイオミング州のロッキー山脈の高地の食堂を訪ね、二十世紀モーター社にいた若い技師について教えてほしいと頼む。白髪のシェフ、ダグニーの頼みを断り、自分がヒュー・アクストンであることを明かす。スタッドラー博士の愛弟子でもあった愛弟子3人の成長した姿を誇りに思うかとダグニーに尋ねられたアクストン、「願ってもみなかったほど誇りに思っている」と答える。アクストン、ドルマークが金字で刻印された煙草をダグニーに与える。

⑥ 「エリス・ワイアットの失踪」タイムライン

0年	<ul style="list-style-type: none"> ● 共同製鉄のオレン・ボイル、競合のリアーデン・スチール（鉄鋼の原材料の供給源となる鉱山や炭鉱まで傘下に収めていることが強みの一つ）の力を削ぐため、産業家から政治家、官僚、文化人まで巻き込み、「機会均等化法」（一個人または一企業が複数の事業を傘下に置くことを禁じる法律）の制定を求める運動を始める ● 「機会均等化法案」が議会で提出される
6月頃	● 「機会均等化法案」の成立を支持する世論が、新聞や文化人や社会運動家たちの主導で徐々に高まる
9月	● 「共食い防止協定」可決。ワイアットの石油を輸送していたフェニックス・デュランゴの翌年7月の営業停止が決まる
1年後	<ul style="list-style-type: none"> 3月頃 ● 「機会均等化法」成立。一個人または一企業が複数の事業を傘下に置くこと（複数の州に支社を持つことを含む）が不可能になる 春 ● ウェスリー・ムーチ（「機会均等化法」成立阻止のためにハンクに雇われながらハンクを裏切ったロビイスト）、経済企画国家資源局の局長補佐に任命される 7月 ● ジョン・ゴールト線（時速160kmでの貨物輸送が可能）が開通し、コロラド州がゴールドラッシュ状態になる。 ● リアーデン・メタルへの注文が殺到して数ヶ月待ちの状態になり、オレン・ボイルの共同製鉄が事業縮小を余儀なくされる 8月 ● 東部諸州をはじめ全米からコロラド州への企業移転が加速する（コロラド州がゴールドラッシュ状態となり、かつ州をまたいで支社を置くことが「機会均等化法」でできなくなっていたため） ● 企業の流出が続く諸州の変化を嫌う人々から「企業の移転を法律で禁止すべき」との声が高まる ● 急成長するコロラド州（とそこに集結した成長企業）との格差拡大への不満が高まる 9月 ● 経済企画国家資源局の権限を拡大する法案が議会を通過する ● 経済企画国家資源局の調整長官にウェスリー・ムーチが就任する ● 「ウェスリー・ムーチは注目すべき有能な人物」と報道される ● ワイオミング州・ニューメキシコ州・ユタ州・アリゾナ州が、コロラド州で運行する列車の便数が近隣各州で運行する列車の便数を上回らないようにすべきだと要求し始める ● ボイル率いる団体が、リアーデン・メタルの生産量を同様の生産能力の製鉄所の出来高と同じ量に制限するよう定める『生計維持法』の議会通過を求め始める ● モーウェン率いる団体が、リアーデン・メタルを必要とする顧客すべてに等しく供給することを定めた『公正分配法』の議会通過を求め始める ● パートラム・スカター率いる団体が、東海岸の企業の州外移転を禁じた『公共安定法』の議会通過を求め始める ● 経済企画国家資源局調整長官ウェスリー・ムーチ、「緊急権限」と「不均衡経済」という言葉が数行おきに現れる声明を連発 10月 ● 経済企画国家資源局調整長官に政令を發布する権限を与える法律が議会を通過する 11月 ● ウェスリー・ムーチ、「国家的緊急事態の名の下に」以下の政令を発表 <ul style="list-style-type: none"> - 国内の鉄道は全便の最高速度を時速60マイルに、列車の長さを最長60両に削減するものとし、近隣5州からなる区域の各州で同じ便数の列車を運行すること。この目的のために全州を区域単位に分割するものとする - 国内の製鉄所はあらゆる合金の最高生産高を、同等の工場生産能力に分類された他の製鉄所による合金の生産と同量に制限すること。どの合金も入手を希望するすべての顧客に正当な割当て分を供給すること - 国内の製造業者には、規模や業種に関わりなく、経済企画国家資源局の特別許可がない限り、現在の位置から移転することを禁じる - 国内の鉄道には、この政令により余分に発生する費用を埋め合わせ、「再調整の過程の衝撃を和らげるため」、すべての鉄道社債一保証と転換オプションの有無にかかわらずの利息と元本の支払いに5年間のモラトリアムを宣言する - これらの政令を施行する人事資金を提供するために、「より逼迫した州を援助し、国家的緊急事態の矢面に立ちうる州」としてコロラド州に特別税が課され、税はコロラド州の企業の総売上高の5%と規定される ● この政令により、コロラド州のゴールドラッシュ状態がとどめを刺され、ジョン・ゴールト線の社債を購入した企業家達が資金繰り危機に陥る ● エリス・ワイアット、政令が発表されると同時にワイアット石油のすべての油井に火を放ち、「見つけたまま残していく。好きにしろ。おまえらのものだ」というあざけりのメッセージを残して失踪